

ルクセンブルク経済・金融情勢（2011年11月）

【トピック】

- ・ アンリ大公がベトナムを公式訪問した。
- ・ クレック経済・通商大臣が来年2月1日付での辞任を発表した。後任は、エティエンヌ・シュナイダー現経済・通商省首席参事官に決定。
- ・ 日・ルクセンブルク租税条約改正議定書発効のための外交上の公文の交換が行われた。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

当国及びユーロ圏の業況は悪化している。9月のユーロ圏全体の工業生産は前月比2.0%減、10月は0.1%増であったのに対し、当国ではより経済収縮が見られ、2011年9月に前月比4.2%、10月に3.6%（推計値）減少している。

建設セクター

第3四半期における業況は悪化傾向にあるものの、景気動向調査では楽観的な見方が伺える。とはいえ、受注件数が少ないとみる企業の割合は8月には全体の19%であったのが11月には33%に増加しており、また財政上の制約がある企業も6月以降増加傾向にある。

2. 金融セクター

- (1) 11年10月末現在銀行資産残高は7,813億ユーロ。
- (2) 11年11月末現在銀行数は142行。
- (3) 11年11月末現在投資信託残高は2兆594億ユーロで、前月比0.60%減。
- (4) 金融部門における従業員数は、第2四半期に微減したが、第3四半期には前期比0.5%増加した。

3. 雇用情勢

- (1) 11年11月の季節調整済み失業率は5.9%（推計値）。
- (2) 部分失業制度の利用企業数がここ数か月で増加しており、第3四半期には平均22件であった申請軒数も11月には28件、12月には32件と増加傾向にある。増加は特に製造セクターで見られ、2011年第3四半期の申請の75%を占める。その他は、運輸・倉庫業（8%）、自動車修理業（6%）等。下請け企業が多い。

4. インフレ

- (1) 11年11月のインフレ率は年率3.6%（前月同3.4%）。
- (2) 来年度から2014年までの時限措置として、賃金物価自動スライド制の発動を最大年1回とすることが発表された。次回のスライド制実施は2012年10月の予定。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。